

民主島根

2020年
3.15
第1356号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

安倍政治終わらせ、新しい政治を 野党連合政権実現しよう

衆院島根2区 むこせ慎一氏の擁立を発表

日本共産党島根県委員会は3日、県庁で会見し、衆院島根2区に党西部地区委員長の大野公明のむこせ慎一氏(49)を新2区の擁立を発表しました。

後藤勝彦県委員長は「比例中国ブロックの議席奪還を勝ち取るとともに、自民・公明の与党を少数に追い込み、野党連合政権の実現をめざす」と述べました。

むこせ氏は消費税5%への減税や島根原発の稼働を中止することなどの決意を表明しました。

◆むこせ慎一氏の略歴
1971年石川県生まれ。山形大学大学院工学研究科修了。日本民主青年同盟島根県委員長、党西部地区副委員長など歴任。国政選挙、県知事選挙に立候補。現在、党西部地区委員長。



記者会見する(右から)むこせ氏、後藤県委員長、尾村県議(県庁)

2月県議会の論戦から

日本共産党の尾村利成県議は2月27日、一般質問に、大野公明県議は5日、一問一答質問に立ち、県知事や県執行部をたどりました。(2面に続く)

尾村県議の一般質問

子育てパッケージ論許せない

尾村県議は、県が人口減少対策として「放課後児童クラブと子どもの医療費助成」の拡充財源のために、小中学校の少人数学級編制縮小案を提案している問題で、「子育てを充実するから教育の削減を認めよとの二者択一を迫る手法は県民に『対立と分断』を持ち込むものだ」と批判しました。

尾村氏は「現行制度の維持を求める県PTA連合会からの4万5千人分の署名や松江、出雲、雲南の各市議会から提出された現行制度堅持を求める意見書を重く受け止めるべき」と強調し、現行の少人数学級編制の堅持を強く求めました。

丸山達也知事は「学力、いじめの認知件数、不登校の状況などのデータをく、財政的観点のみから提案されたものです。尾村氏は「現行制度の維持を求める県PTA連合会からの4万5千人分の署名や松江、出雲、雲南の各市議会から提出された現行制度堅持を求める意見書を重く受け止めるべき」と強調し、現行の少人数学級編制の堅持を強く求めました。

少人数学級と児童クラブ拡充こそ

尾村県議は、放課後児童クラブの支援員から「学校と緊密な連携をもち、子どもたちを育てている。先生は気にかかる子どものことを日々連絡してくれる。しかし、先生のゆとりがなくなれば、きめ細やかな連携や連絡も難しくなる」学校には何らかの困難を抱

え、支援が必要な子どもがいるが、現在、児童クラブでは一人ひとりの困難に向き合うだけの人員の余裕はない」などの声を紹介しました。

不足する支援員を派遣で賄おうとする発想は、支援員を「モノ扱い」するものであり、子どもへの愛情がなく本気の子育

て支援ではないと強調。その上で、少人数学級編制継続による一人ひとりの子どもへのきめ細やかなサポートに加え、児童クラブの十分な人員配置、ゆとりある生活スペースの確保など「福祉と教育一体の支援」での施策拡充でこそ、子どもの健全な成長につながることを強調しました。

大野県議の一問一答

新型コロナウイルス緊急経済対策を

消費税増税による消費の落ち込みとともに、新型コロナウイルスの感染拡大によって県内経済にも影響が及んでいます。大野県議は、相談窓口の周知や資金繰りが苦し

い中小企業等に対する緊急のつなぎ融資や返済猶予の実施、感染の広がりで売り上げが減少している事業主への支援など緊急対策を要求しました。



丸山知事は、県や商工会議所などに相談窓口を設置するとともに、資金繰りについては県の制度融資の利用を周知したと説明。また、国の特定保証制度の指定を受けたと

述べて、「状況を注視し、国に対策を求めながら、必要な対策を検討していく」と答えました。

「鼓動」
「相手が一番 自分は二番」。被災者への支援活動にとりくんでいる物まねタレントのロッケさんの信条である。災害に遭い苦しんでいる人の身になって考え行動することであり、時として、相手を思いやり自分を抑えることも求められる生き方である。以前に小欄でも紹介したが、アフガンで凶弾に倒れた中村哲さんも、同様のことを言っていた。中村さんは干ばつで苦しむアフガンの人々のため、我が身を投げ打ってかんがい用水事業に尽力した。一番心がけていることは何かとの問いに「常に現地の人の目線で考え、怒(じよ)すなわち思いやりを持つこと」と答えた。▼ロッケさんや中村さんのような生き方は誰にでもできることではない。また、そうした生き方を押し付けるつもりもないが、だからと言って「自分さえよければ他人はどうなってもよい」という生き方をしてはならないだろう。新型コロナウイルス騒動の中で、マスクとトイレトイパーが店頭から消えた事態を目の当たりにしてつくづくそう思う。▼マスクは不当に高い価格でネット販売されたり、トイレトイパーはデマ情報と知りながら買い占めた人もいたという。こうした身勝手な自己中心的な行為が大きな社会不安をまきおこしている。▼新型コロナウイルスは人の体だけでなく心をも汚染しているのだろうか。こんな時だからこそ本当に困っている人への思いやりが求められている。とりわけ、為政者には独断専行的な対応ではなく、専門家や現場の声にしっかりと耳を傾け、社会的弱者への思いやりのあるキメ細かい施策が求められている。(吉)